

# 肺がん

NO. 8

ガン死亡の第1位。。。急増

## 危険

■ 早期発見の遅れ 自覚症状が少ない  
胸部単純X線写真で肺がんが疑われるには、ある程度  
の大きさにならなければ困難⇒胸部CTへ

### ■ 肺がんの危険因子

(発がんのメカニズムはまだ解明されていません)

#### 『喫煙』

タバコの煙の中には200種以上の発ガン性化学物質が含まれています。(ベンツピレンやニトロソアミン類) 毎日喫煙している人は非喫煙者の4、5倍の肺がん罹患率です。

『大気汚染、放射性物質、環境要因、繊維状鉱物』  
10～20%は喫煙と関係ないといわれています。

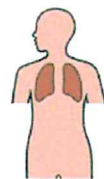
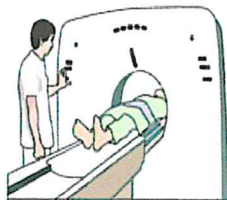


### ■ 肺がんの種類

- 小細胞肺ガン : 悪性度が高いガン(15～20%)喫煙など
- 非小細胞肺ガン : 腺ガン(40%)粘液などを分泌する腺組織に発生、手遅れになり安い
- 扁平上皮ガン(35%) 喫煙と関係があり、煙に直接接触する気管支の表面に生じ、痰などで早期発見しやすい。
- 大細胞ガン(10%以下、悪性度が高い)

### <早期発見の目安>

- 咳が続く
  - 痰が続く (特に痰に血が混じる)
  - 胸が痛い、息切れ、喘鳴、顔や首のむくみ
  - 声がかれる
  - 体重減少
- 手遅れにならないよう定期検診を！！



### ■ 肺がんの治療

- I・II期・・・手術が第一選択
- III A期・・・一部は手術の対象。合併療法として放射線療法や化学療法(抗がん剤による治療)が必要
- III B・IV期・・・手術は適当でなく、全身状態が良好であれば放射線療法や化学療法の対象となります。
- IV期では抗がん剤治療の効果より、負担が大きい時は、症状を緩和することが主になります。

### <トピックス>

日本のタバコの価格は世界16位、タバコ税は消費税を含めて59.7%です。

●常習喫煙は、ニコチン依存と考えられています。ニコチンが体内から減少してくると、脈が遅くなったり、集中困難、怒り、落ち着きのなさ、不安などの不快離脱症状が現れます。

#### ●禁煙治療

ニコチンガム (一般薬局でも買えます)

ニコチンパッチ (貼り薬で病院処方です)

・日の本数×喫煙年数=喫煙指数

600以上の人は肺がんのリスクの高い人です。